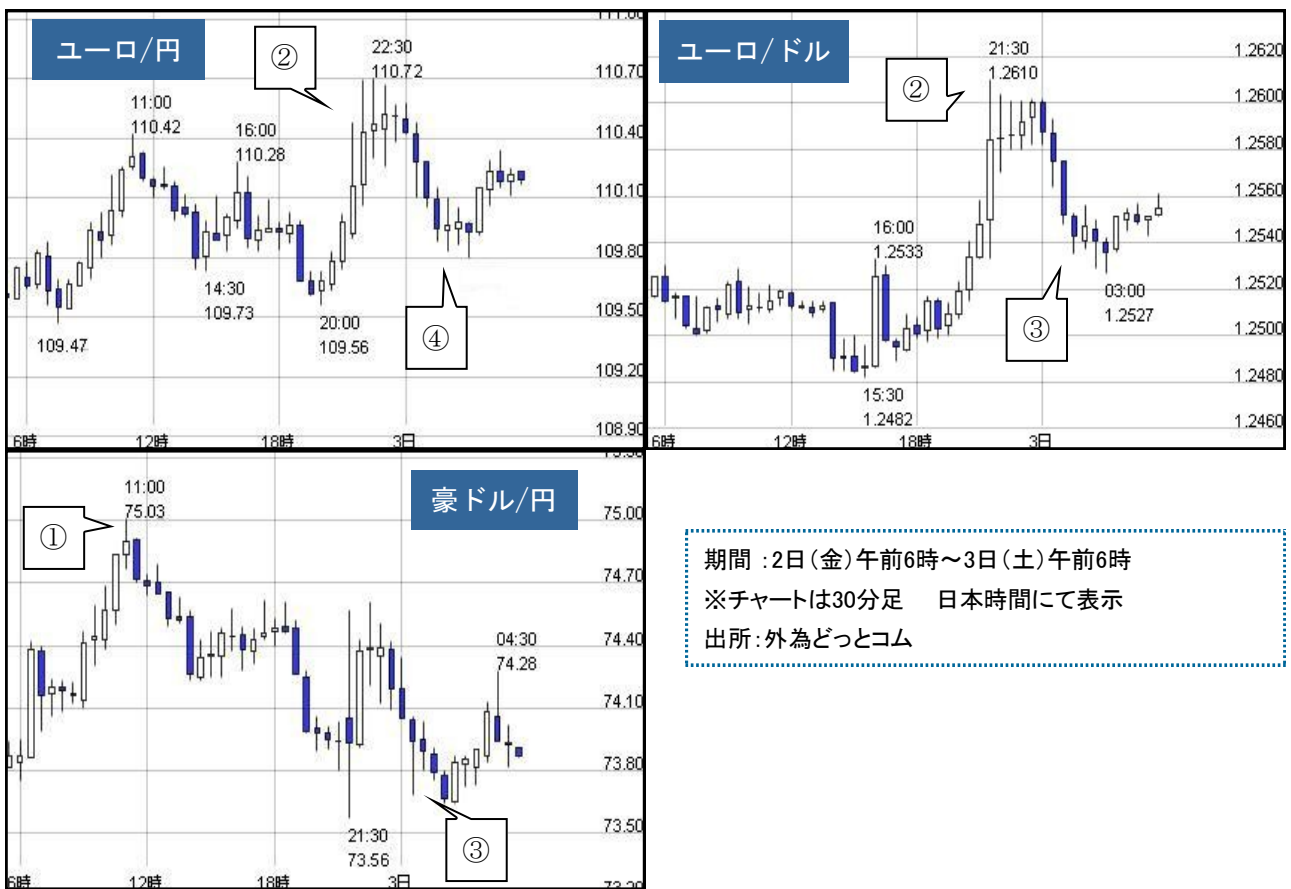


7月5日(月曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

米国休場で動意薄の展開か？

2日(金)の主な推移



期間：2日(金)午前6時～3日(土)午前6時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

- ① 取引開始直後に、ギラード豪首相が鉱山会社と豪資源超過利潤税の税率を当初の40%から30%に引き下げる事で合意に達したと伝わると豪ドル/円は74円台を回復して上昇した。その後も日経平均株価が前日比プラス圏で底堅く推移した事からリスク回避の動きが後退し豪ドル/円は75.03円の高値を付けた。
- ② 米6月雇用統計は、失業率9.5%に改善したものの非農業部門雇用者数は12.5万人の減少、民間部門雇用者数では8.3万人の増加となった。失業率の低下を受けて瞬間的にドル買い・ユーロ売りが強まる場面もあったが、直後には予想を下回る民間部門雇用者数を嫌気する形で一転してドル売り・ユーロ買いが強まるとユーロ/ドルは5月21日以来となる1.2610ドルの高値を記録した。ユーロ/ドルの上昇につれて、ユーロ/円も上昇し、NYダウ平均株価が小じっかりで始まると110.72円の高値を付けた。
- ③ 小じっかりで始まったNYダウ平均株価が、米雇用統計の結果を受けた米国の景気減速への懸念から前日比100ドル以上の下落に転じると、ドルや円が買い戻され、ユーロ/円やユーロ/ドル、豪ドル/円は下落した。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2450-1.2650ドル
 ユーロ/円 : 109.00-111.00円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 72.80-74.50円

米国の景気先行きに対する不安が、欧州の債務問題や信用問題に対する不安を上回っているようで、足元ではユーロ高が進んでいる。とはいえ、欧州への懸念が払拭された訳ではなく、ユーロが対ドルや対円で一段と上昇するには力不足であろう。2日の米6月雇用統計も強弱入り混じる内容で、明確な方向感を作るには至らなかった。新たな材料待ちの展開となりそうだが、本日は米国休場となる事から、材料不足で動意に乏しい展開が予想される。(神田)

本日の豪ドル/円相場は米国が休場となるため、主な経済指標の発表も予定されておらず、日経平均株価、上海総合株価指数、欧州株式市場の動向を睨んでの動きとなりそうだ。2日の米6月雇用統計では、失業率は改善したもの、注目された民間部門雇用者数が予想を下回るなど強弱まちまちな結果となり、米国景気の先行きに対する懸念を払拭する事は出来なかった。したがって、主要国の株価が急速に反発する可能性は低そうで、本日の豪ドル/円相場は上値が重い展開となりそうだ。(神田)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
7/5(月)	18:00		(ユーロ圏) 5月小売売上高 [前月比]	-1.2%	+0.3%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。